

消費者ネットちば News

No. 06 2009年5月17日



第5回公開学習会 「わたしもできる『家庭の省エネ』」 於) 教育会館 4月23日

NACS千葉分科会会員佐藤孝逸氏を講師に公開学習会が行われました。

- ・地球温暖化防止をめぐる海外、国内の取り組み
- ・CO₂削減を目標とするためには、数値だけでなく、金額に換算した場合はどうか
- ・生活の中で省エネを実践するためにはどうすべきか

などなど、ビジュアルなレジュメを元にわかりやすく説明をしていただきました。署名活動に引き続いての学習会でしたが、多くのご参加があり、充実した学習会になり、ありがとうございました。(廣)



講師 佐藤孝逸氏



街宣署名活動中のメンバー

JR千葉駅前にて、街宣署名活動 4月23日

衆議院本会議で消費者庁関連3法案及び同修正法案が全会一致で可決されたのを受け、参議院での可決と早期の消費者庁設置を求める街宣署名活動をJR千葉駅前で消費者ネットちばメンバー20人余で行いました。後に公開学習会を控えた夕刻の短時間でもあり署名自体は少なめでしたが、ビラの受け取りは大変よく、また立ち止まって話を聞いてくれる人も多いなど街の反応は良好。消費者庁への関心の高まりが肌で感じられた活動となりました。

和田代表幹事が参議院消費者問題に関する特別委員会公聴会に公述人として出席 5月12日

千葉県消費者団体連絡協議会会長、我孫子市消費者の会会長 和田三千代氏が参議院消費者問題に関する特別委員会公聴会で、消費者団体としての歩みと、会員の高齢化と行政の支援打ち切りで存続が危うくなっている消費者団体の現状、そして消費者庁に望むことを述べられました。同時に、消費者ネットちばの代表幹事として、これまでの当会の活動についても触れていただきました。地方の小さな団体とおっしゃりながら、ダイオキシン含有が疑われた農薬CNPの製造中止に貢献された実績、しかし実質廃止に持ち込みながらその後5年間販売が続けられてしまった苦い経験などのお話は、消費者団体の地道な活動が国や行政を動かしてきたことを如実に示し、地域の消費者団体の必要性を十分にアピールされました。質問に立たれた委員の皆さんは一様に敬意と賞賛を表されていました。(佐)

消費者ネットちば 参加団体紹介4 NACS千葉分科会

NACS(社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会)は、1988年(昭和63年)に発足し、現在4000人の会員を有し、消費者問題の専門家として幅広い活動をしています。

千葉分科会は、地元の千葉で消費生活に関するテーマについて、学習活動を実施しています。平成8年2月に発足し、現在の会員数は約240人です。毎月定例会(原則第4土曜)を開催しています。

これまでの研究調査は、「裁判員制度について」「きのこの研究」「金融ビッグバン」「宝石の鑑別」「訪販法改正」「消費者相談の現場から」「クリーニング苦情」などです。また、最近は「家庭の省エネ」をテーマに学習活動をしています。今年のテーマは、「千産千消」です。(廣)

千葉県弁護士会主催の「日弁連人権擁護大会プレシンポ in 千葉」を「消費者ネットちば」が共催します。テーマは「消費者市民社会と地方の役割」。共催あいさつを河野代表幹事が、リレー報告、パネルディスカッションに各所属団体の立場から「消費者ネットちば」として報告者、パネラーに出席いただく予定です。

6月13日(土) き・ぼーる 詳細は後日チラシにてお知らせ